

## 金城大学生との議会報告で寄せられた意見について（令和4年9月分）

（テーマ）

- ・住み続けたいと思うまちづくり
- ・若者（自分達）がまちづくり（政治）に興味を持つためには
- ・どうなれば（どうすれば）若者（自分達）は投票（選挙）に行くか

No	議会報告会での大学生からの主な意見	常任委員会での協議内容
1	インターネット（スマホ）で投票できたらよい。	オンライン投票につきましては、なりすまし投票への対策、それから二重投票の防止策、情報管理の徹底、信頼性の確保のための改ざん防止策、それからシステムトラブル時の対応、パソコンやスマホの扱いに不慣れな方たちへのフォローといった大きな課題が幾つもございます。こういったものが全てクリアされまして実現されれば、有権者の利便性のみならず、執行側としても大変事務の効率化等につながると思いますけれども、実際の問題としましては、まだまだ先のことではないかというふうに思っております。
2	特典をつけたらいいのでは。	投票することに対して直接的なメリットを求めるといふこと、物的なメリットを提供する見返りに投票に行ってくださいということとは、投票の本来の趣旨とは異なるものと考えております。特典をつけるということについては現在のところ考えておりません。投票済証明書の発行、それから選挙割につきましては本市では行なっておりませんが、投票率の向上ということであれば一つの取組ではあるということ、今後とも調査研究は行なっていこうとは思っております。
3	SNSを活用したらいいのでは。	啓発面では選挙管理委員会としましてはSNSを利用した選挙活動が認められていることから、LINEやフェイスブックでも選挙啓発を行っております。

		<p>また候補者側の選挙運動としましては、選挙当日は更新できませんが、告示日から選挙期日の前日まではSNSを活用した選挙運動は可能です。</p>
4	不在者投票をもっと簡単にできればよい。	<p>期日前投票につきましては入場券の裏面にあります宣誓書の記載をしていただかなければなりません。それ以外は当日と変わりなく投票できるので、難しいことはないと思います。ただこれが不在者投票ということになりますと確かに事務が煩雑ですが、マイナンバーカードをお持ちの方につきましては、少し手続きが簡単になります。</p>
5	小学校・中学・高校から政治教育を行って政治について知る機会をつくってほしい。	<p>小学校6年生の社会科、中学校の公民で政治教育を行っている。また、日頃から政治や経済について興味や関心を持つ機会を増やすよう、デジタル新聞を各小学校が閲覧できるよう今年度全校に導入いたしました。</p>
6	主権者教育を充実させてはどうか。	<p>主権者教育において重要な役割を担う社会科では、これまでも公共施設の整備、財政や税、社会保障や雇用、金融などについて、小学校6年生より中学校3年生まで、国の政治の仕組みについて学習を重ねています。また、市としても中学生による子ども会議を開催し、主権者教育の充実を図っているというところです。</p>